2027年３月期　第２四半期

決算説明資料

2026年11月9日

日特建設株式会社

©2026 NITTOC Co.,Ltd.

経営理念

Message

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

社是

私たちは、見えないところにこそ、
誠実に技術を提供して、社会から必要とされる
企業であり続ける

経営理念

Mission

- 使命

安全・安心な国土造りに
貢献する会社

Value

- 価値観

基礎工事における総合技術力と
効率的な経営

Vision

- あるべき姿

信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした
基礎工事のエキスパートで
あり続ける

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

2027年３月期　第２四半期　決算説明資料　目次

1	連結　業績サマリー	P4～5
2	連結　四半期推移	P6～7
3	連結　工種別推移	P8～11
4	連結　貸借対照表	P12
5	連結　業績予想	P13
6	地研テクノ株式会社の子会社化について	P14
7	新技術	P15
8	施工事例	P16～17

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

1-①.連結業績数値　サマリー

受 注 高：前年同期比△0.1%、前々年同期比+7.3%

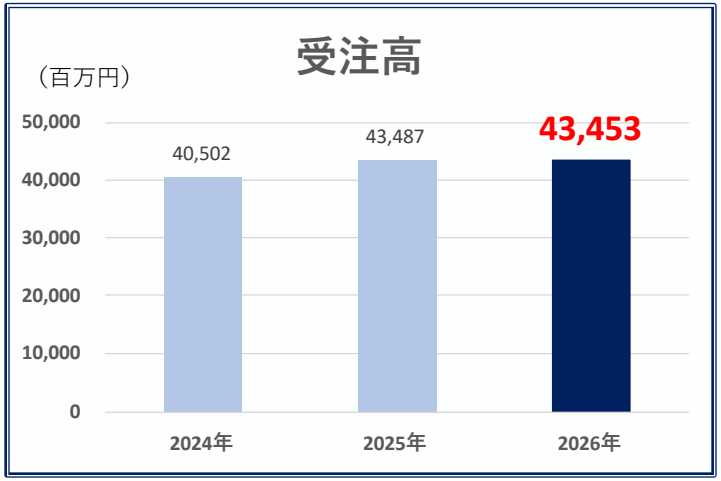
東北のダム関連の地盤改良工事や能登半島地震の復興の法面工事受注などを受注し、前年同四半期と同水準（前年同期比△0.1%）となりました。

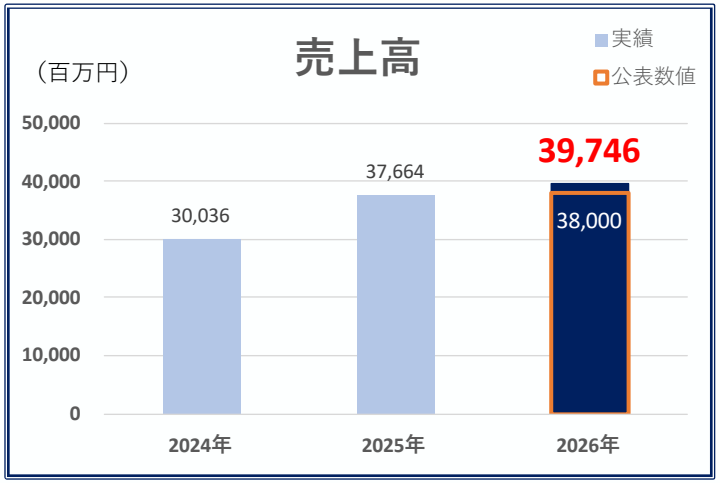
売 上 高：前年同期比+5.5%、前々年同期比+32.3%

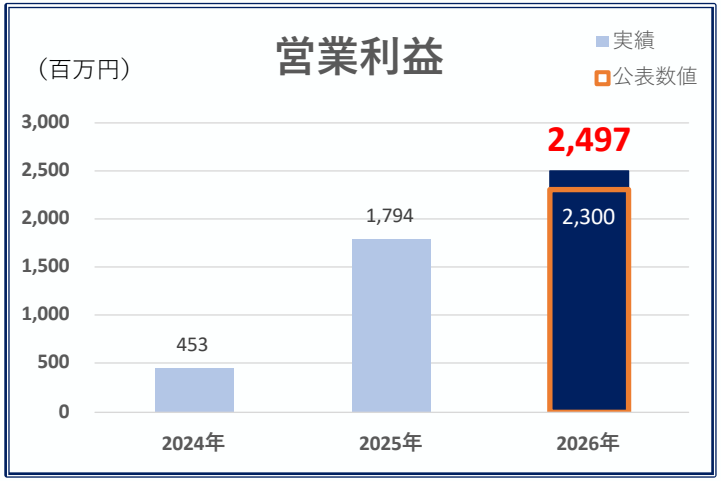
当第２四半期連結累計期間に寄与する手持ち工事が多かった影響などで、前年同期比+5.5%となりました。

営業利益：前年同期比+39.2%、前々年同期比+451%

利益率が相対的に高い法面工事において、大型工事の施工が進み売上高が増加したことなどにより、売上総利益は増加しました。また、販売費及び一般管理費が前年同期を下回ったことも寄与し、営業利益は+39.2%増となりました。







© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

1-②.連結業績数値　サマリー

（百万円）

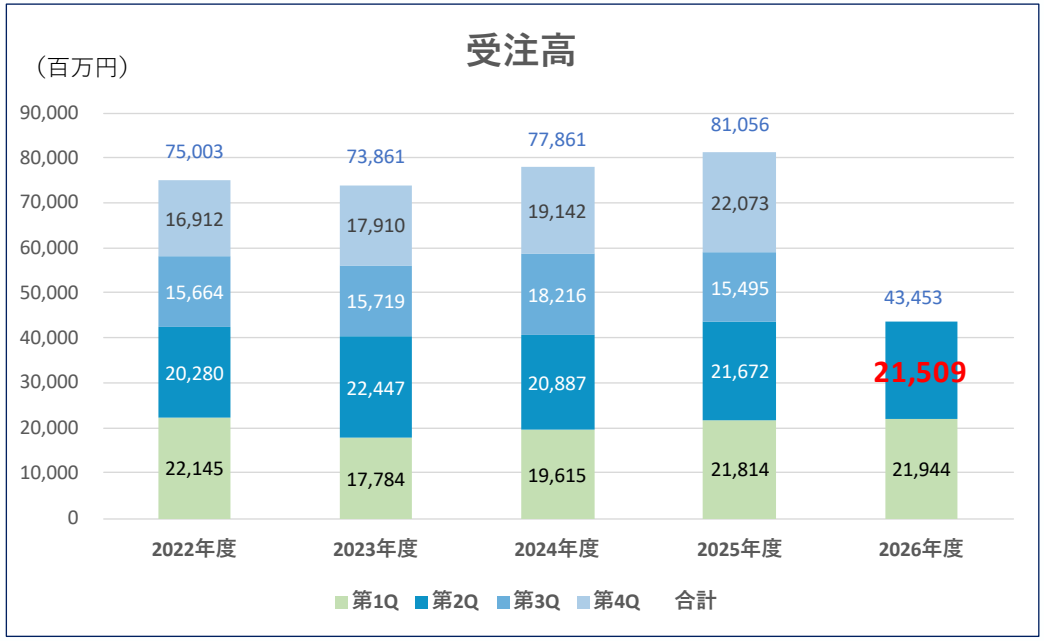
連結	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期公表数値	2026年9月期	対前年		対公表	
					差異	%	差異	%
受注高	40,502	43,487	—	**43,453**	△ 34	99.9%	—	—
売上高	30,036	37,664	38,000	**39,746**	2,082	105.5%	1,746	105%
完成工事総利益	4,936	6,673	—	**7,252**	579	108.7%	—	—
販売費及び一般管理費	4,483	4,878	—	**4,754**	△ 124	97.5%	—	—
営業利益	453	1,794	2,300	**2,497**	703	139.2%	197	109%
経常利益	482	1,866	2,300	**2,529**	663	135.5%	229	110%
親会社株主に帰属する中間純利益	235	1,182	1,550	**1,517**	335	128.3%	△ 33	98%

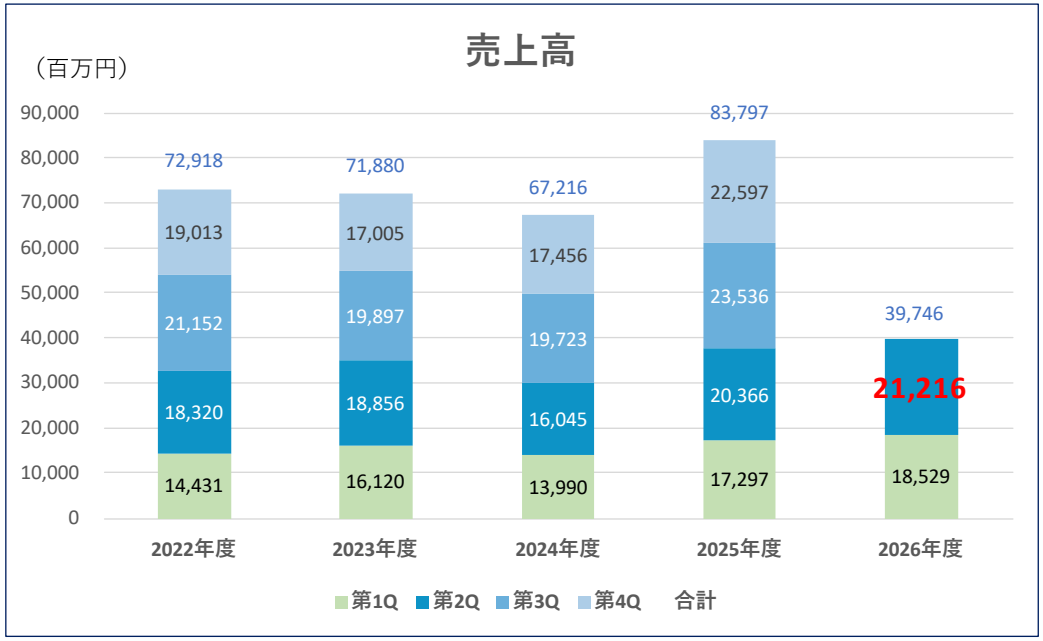
© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

2-①.連結　四半期推移

受注高：第２四半期期間（7-9月）215億円（前年同期比△0.8%）1億円の減。
能登半島地震の復興工事などを受注し、前年同期と同水準（△0.8%）となりました。

売上高：第２四半期期間（7-9月）212億円（前年同期比+4.2%）8億円の増。
当第２四半期（７～９月）に施工する手持ち工事を十分に確保していたことなどから、
売上高は前年同期比+4.2%となりました。





© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

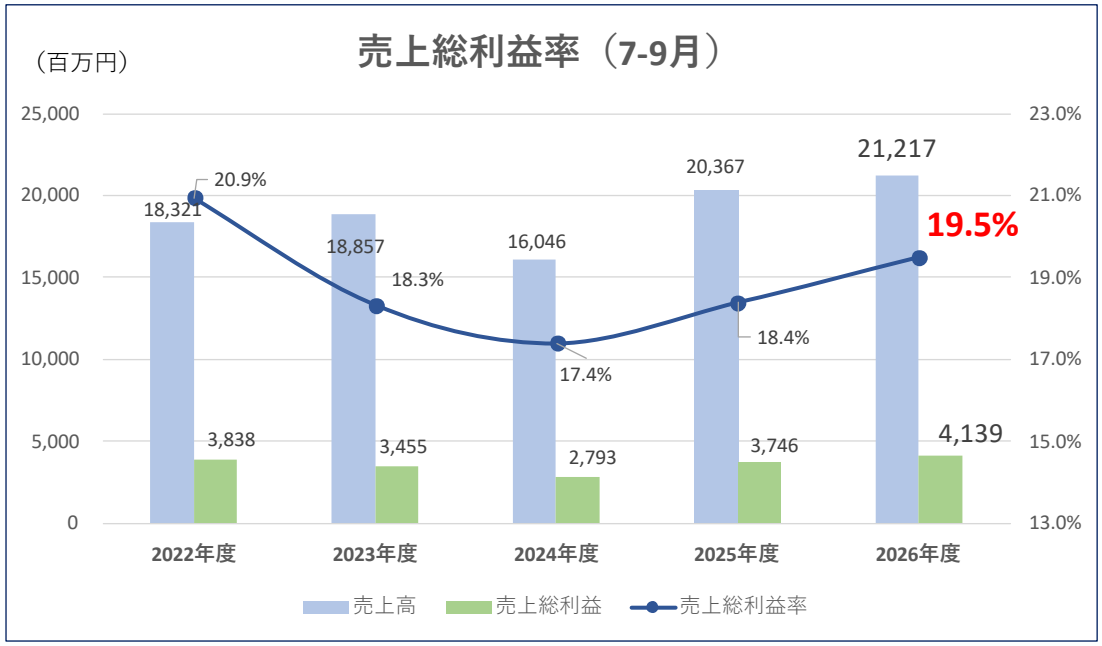
2-②.連結　四半期推移

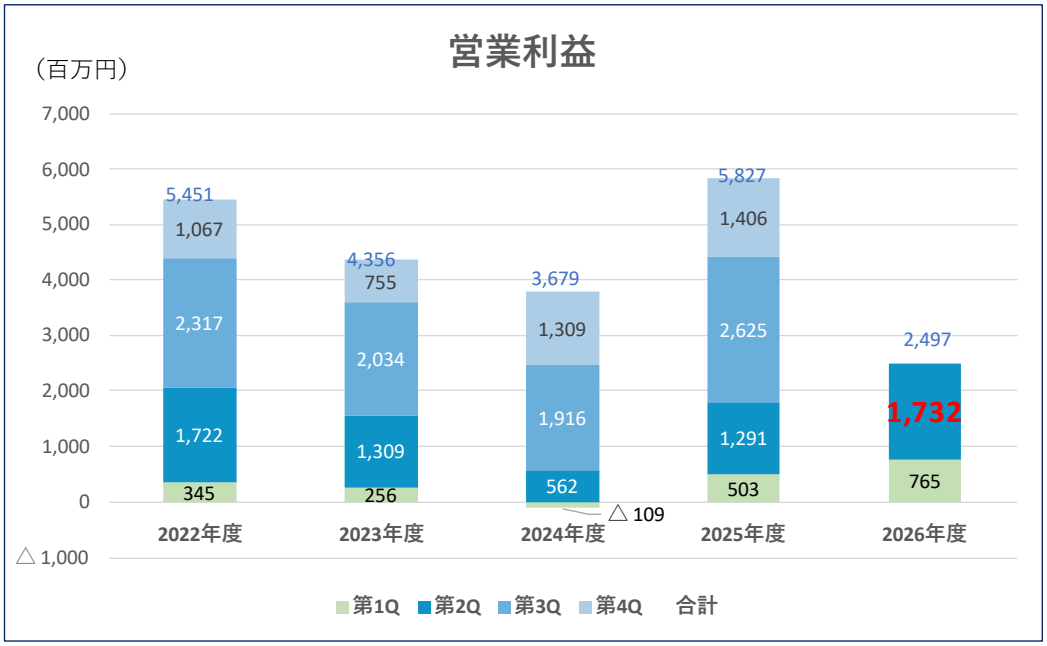
売上総利益率：第２四半期期間（7-9月）19.5%（前年同期 1.1ポイント増）

利益率が相対的に高い法面工事を中心とした工事の施工進捗や工種構成等が寄与し、売上総利益率は前年同期から1.1ポイント増の19.5％となりました。

営業利益：第２四半期期間（7-9月）17億円（前年同期より４億円増）

売上総利益の増加などにより、営業利益は前年同期より約４億円増加し、約17億円となりました。





© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

3-①.連結　工種別受注高

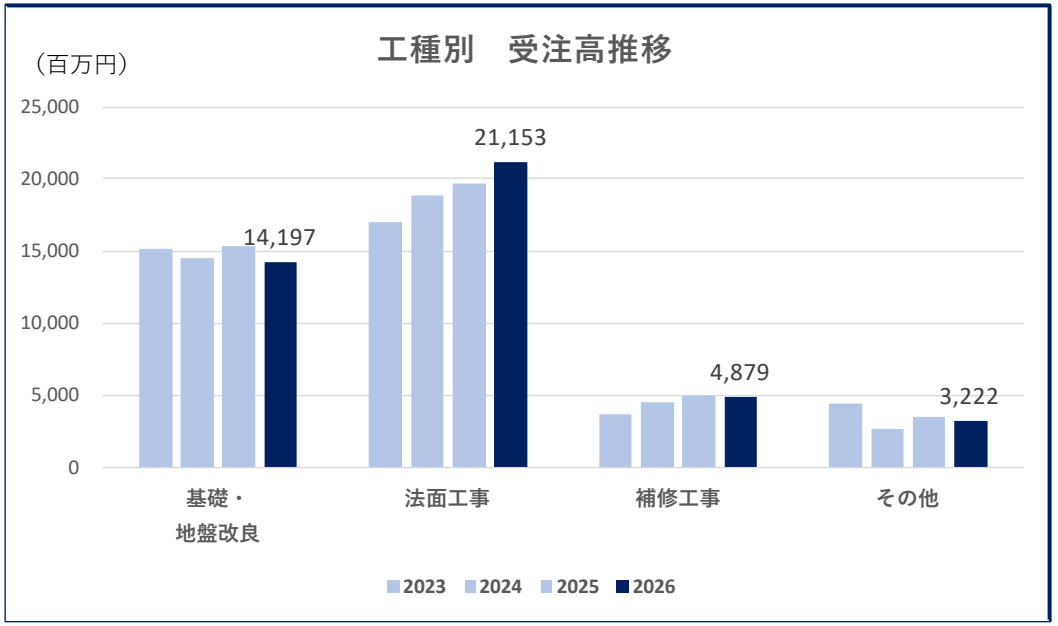
基礎・地盤改良工事：141億円（前年同期比△7.2%）法面工事：211億円（前年同期比+7.6%）

補修工事：48億円（前年同期比△2.6%）

基礎・地盤改良工事は、前年の大型工事受注の反動により、前年同期比7.2%減、法面工事は、能登半島地震の復興工事などにより前年同期比7.6%増、全体では前年同期比と同水準（0.1%減）となりました。

（百万円）

受注高（連結第２四半期）	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	対前期 増減	対前期 増減率
基礎・地盤改良工事	15,125	14,474	15,300	14,197	△ 1,103	△ 7.2%
法面工事	16,955	18,828	19,654	21,153	1,498	7.6%
補修工事	3,691	4,543	5,011	4,879	△ 132	△ 2.6%
その他	4,459	2,656	3,519	3,222	△ 296	△ 8.4%
合計	**40,231**	**40,502**	**43,487**	**43,453**	**△ 34**	**△ 0.1%**



© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

3-②.連結　工種別売上高

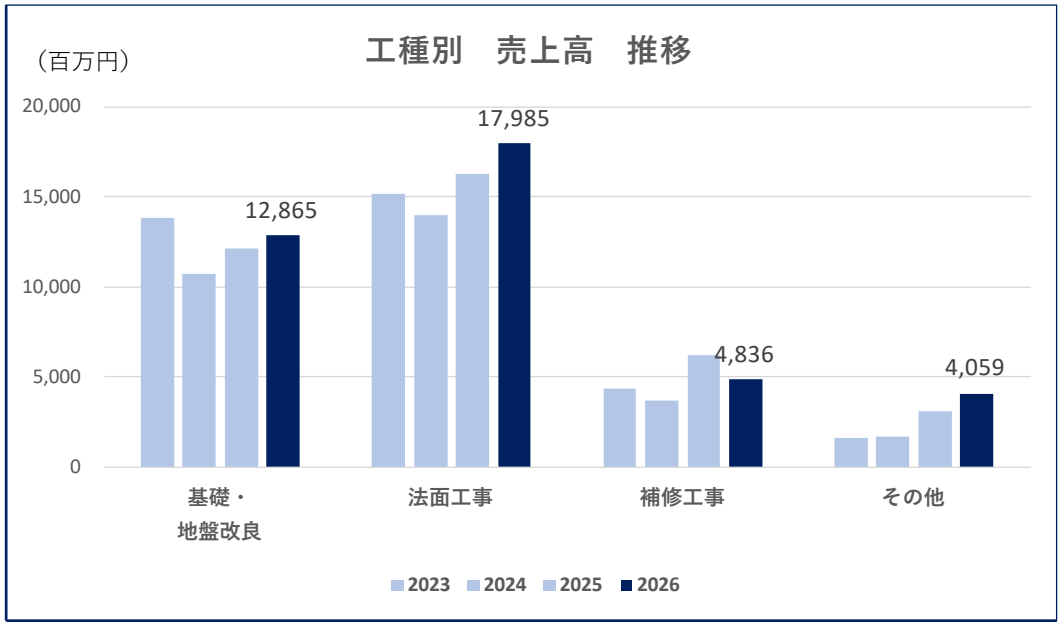
基礎・地盤改良工事：128億円（前年同期比+6.2%）法面工事：179億円（前年同期比+10.6%）

補修工事：48億円（前年同期比△22.1%）

第２四半期連結累計期間の手持ち工事が多かったことに加えて、法面工事は、能登半島地震の復興工事などにより前年同期比+10.6%増、全体では前年同期比5.5%増となりました。

（百万円）

売上高（連結第２四半期）	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	対前期 増減	対前期 増減率
基礎・地盤改良工事	13,843	10,723	12,111	12,865	753	6.2%
法面工事	15,186	13,999	16,264	17,985	1,720	10.6%
補修工事	4,343	3,684	6,207	4,836	△ 1,371	△ 22.1%
その他	1,603	1,630	3,080	4,059	978	31.8%
合計	**34,977**	**30,036**	**37,664**	**39,746**	**2,082**	**5.5%**



© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

3-③.連結　工種別繰越工事高

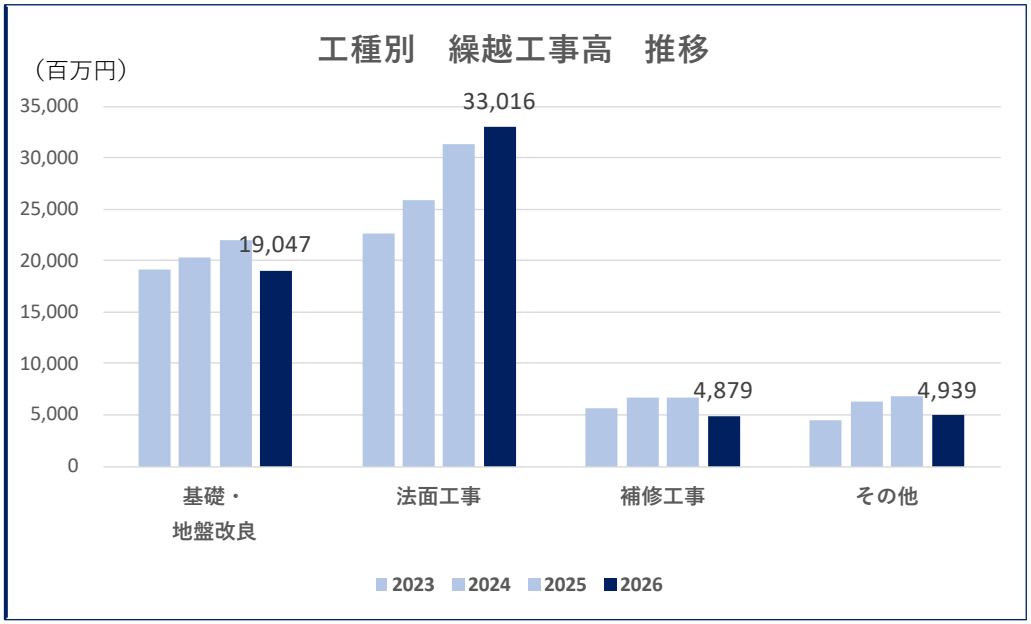
基礎・地盤改良工事：190億円（前年同期比△13.1%）法面工事：330億円（前年同期比+5.4%）

補修工事：48億円（前年同期比△26.8%）

基礎・地盤改良工事が前年同期比13.1%減、法面工事が同5.4%増、補修工事が同26.8%減となりましたが、高水準の繰越工事高を確保しました。

（百万円）

繰越工事高（連結第２四半期）	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	対前期 増減	対前期 増減率
基礎・地盤改良工事	19,155	20,284	21,923	19,047	△ 2,875	△ 13.1%
法面工事	22,582	25,908	31,339	33,016	1,677	5.4%
補修工事	5,608	6,634	6,661	4,879	△ 1,781	△ 26.8%
その他	4,511	6,221	6,816	4,939	△ 1,876	△ 27.5%
合計	**51,856**	**59,050**	**66,740**	**61,883**	**△ 4,857**	**△ 7.3%**



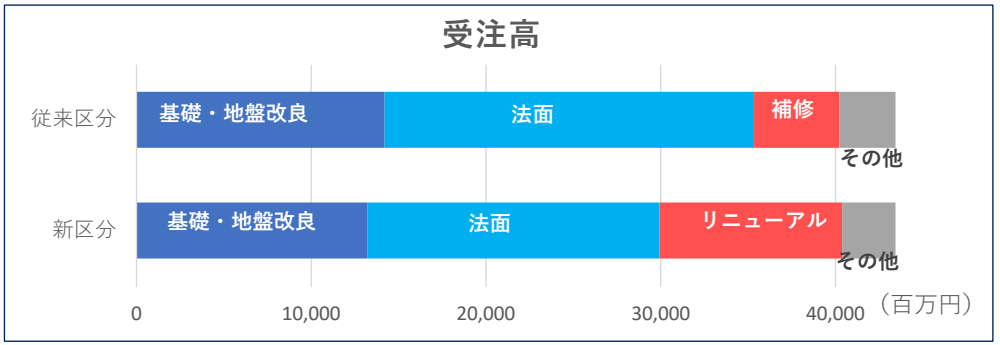
© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

3-④.連結　工種別受注高・売上高　新区分での集計

今年度より、インフラリニューアル市場を当社の事業の大きな柱とすべく、取り組むべき対象となるインフラを明確化して資源を集中させてまいります。従来「補修補強」と区分してきた構造物の耐震補修補強工事（橋梁、トンネル）に、下水道管路補修、斜面インフラ補修などを加え「リニューアル」として工種区分を変更しましたので、以下に従来区分と新区分の比較を示します。

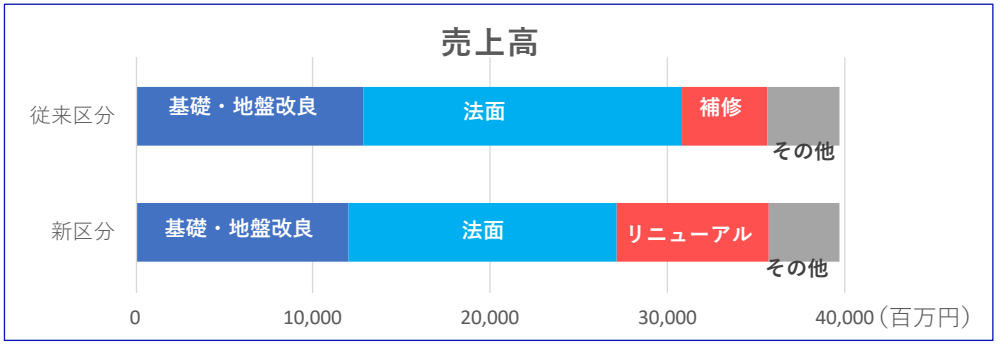
（百万円）

受注高	新区分	従来区分
基礎・地盤改良工事	13,261	14,197
法面工事	16,709	21,153
リニューアル工事/補修工事	10,445	4,879
その他	3,037	3,222
合計	43,453	43,453



（百万円）

売上高	新区分	従来区分
基礎・地盤改良工事	12,013	12,865
法面工事	15,132	17,985
リニューアル工事/補修工事	8,629	4,836
その他	3,972	4,059
合計	39,746	39,746



© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

4.連結　貸借対照表

資産の部

（百万円）

	2025年度 9月期	2025年度 通期	2026年度 9月期
流動資産	**40,300**	**43,984**	**42,764**
うち、現金預金	16,535	17,732	18,573
うち、受取手形・完成工事未収入金等	21,270	24,423	22,396
うち、未成工事支出金	511	250	258
固定資産	**17,393**	**18,411**	**17,651**
有形固定資産	10,366	10,425	10,047
無形固定資産	439	370	343
投資その他の資産	6,587	7,615	7,260
資産合計	**57,694**	**62,395**	**60,416**

負債・純資産の部

（百万円）

	2025年度 9月期	2025年度 通期	2026年度 9月期
流動負債	**17,879**	**19,847**	**17,033**
うち、支払手形・工事未払金等	7,300	13,684	11,948
うち、未成工事受入金	1,432	840	1,183
固定負債	**4,829**	**4,586**	**4,526**
負債合計	**22,709**	**24,434**	**21,559**
純資産の部	**34,985**	**37,961**	**38,856**
負債純資産合計	**57,694**	**62,395**	**60,416**

総資産は60,416百万円となりました。流動資産の減少は、受取手形や完成工事未収入金の回収によるものです。負債合計は21,559百万円で、主に支払手形や工事未払い金の減少が要因です。純資産合計は38,856百万円となりました。

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

5.連結　業績予想

（百万円）

連　　結	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想 （前回）	2026年度 予想 （修正）	対前年		対前々年	
					差異	増減率	差異	増減率
受注高	77,861	81,056	**81,000**	**86,000**	4,943	6.1%	8,139	10.5%
売上高	67,216	83,797	**80,500**	**85,000**	1,202	1.4%	17,784	26.5%
営業利益	3,679	5,829	**5,500**	**6,000**	170	2.9%	2,321	63.1%
経常利益	3,764	6,035	**5,500**	**6,000**	△ 36	△ 0.6%	2,236	59.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,408	4,185	**3,700**	**4,200**	14	0.3%	1,792	74.4%

通期業績予想につきましては、当中間期までの施工進捗や利益状況を踏まえ、下期の施工見通し及び費用計画を見直しております。また、当期の業績に応じた社員への成果還元や人財育成の費用を想定しております。加えて、2026年10月に公表した地研テクノ株式会社の完全子会社化の影響を含めて、修正しております。

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

6.地研テクノ株式会社の子会社化について

当社は2026年９月25日開催の取締役会において、地研テクノ株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化することを決議し、2026年9月28日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

地研テクノの子会社化について

・単なる売上規模の上積みではなく、基礎・地盤改良分野の新たな市場への接点と施工機能を加え、双方の強みを生かした成長につなげるための戦略的な成長投資です。
・人材教育・育成ノウハウを共有することで、より技術力の高い人財の育成を実現し、両社の連携をさらに強化、柔軟かつ迅速な施策によりシナジーを最大限発揮していきます。

詳細は以下をご覧ください。
2026年10月7日付　「地研テクノ株式会社の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ」

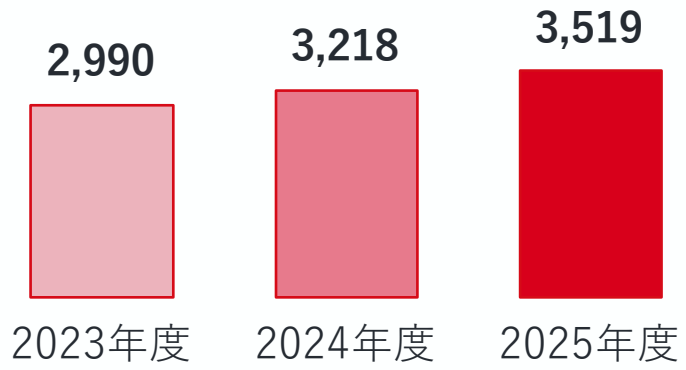
株式譲渡実行予定日：2026年11月30日

地研テクノ株式会社

基本情報

本　社　神奈川県相模原市南区
設　立　1997年5月20日
従業員　97名（2026年1月31日時点）
事　業　地盤調査、地盤補強工事、地盤保証等

売上高（百万円）



© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

7. 新技術

ダム基礎処理工の24時間連続施工を可能とする自動化技術

ダム基礎処理工におけるボーリングおよびグラウチング作業の自動化技術を開発しました。本技術は、作業者の安全性向上と多様な働き方への対応を目指すとともに、施工の省人化及び生産性向上を図るものです。

「自動グラウチングシステム」は、基礎岩盤の亀裂に注入するセメントミルクの配合決定から注入、洗浄までのグラウチング作業を自動化したもので、鹿島建設株式会社、ケミカルグラウト株式会社との共同開発技術です。

ボーリングロッドの脱着を含む一連の削孔作業を自動化した「自動ボーリングマシン」は、鹿島建設株式会社、ケミカルグラウト株式会社、東亜利根ボーリング
株式会社との共同開発技術です。

本技術は、秋田県で施工中の成瀬ダム堤体打設工事における基礎処理工の一部に適用し、その効果を検証しました。これにより、ボーリングおよびグラウチング作業の生産性向上と省人化を実現しました。



自動グラウチング用注入プラント



自動ボーリングマシン

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

8．施工事例

自動車専用道路拡幅における法面保護工事（島根県安来市・鳥取県米子市）

山陰自動車道(安来道路)は、鳥取県米子市を起点とし、島根県松江市に至る19.1Kmの自動車専用道路です。
供用中の安来道路(米子西IC～安来IC間)の内、約1.7Kmを2車線から4車線へ拡幅する工事において、
当社は、法面保護工としてコンクリート吹付工・吹付法枠工・切土補強土工・排水ボーリング工を施工しています。





工事名：安来道路安来東工事
発注者：西日本高速道路株式会社
注文者：前田建設工業（株）・日本国土開発（株）
　　安来道路安来東工事特定建設工事共同企業体
工　期：2025年6月～2031年4月

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.

8．施工事例

道路拡幅に伴う地盤改良工事（富山県氷見市）

国道160号線の歩道および道路拡幅工事に伴う擁壁基礎の地盤改良工事として「CDM-EXCEED工法」を施工いたしました。
国道に近接した狭隘な場所での施工となるため、材料の飛散防止をはじめとする周辺環境への配慮を徹底しております。

また、ICT施工として、マシンガイダンスにより測量と重機移動の効率化を行うとともに、施工状況を元請会社とリアルタイムに共有し、施工管理の効率化と円滑な情報共有を図っています。



工事名：Ｒ７・８宇波地区交通安全対策その２工事
発注者：国土交通省北陸地方整備局
注文者：竹沢建設株式会社
工　期：2026年9月～2026年11月

© 2026 NITTOC Co.,Ltd.